◆ 目次 ◆

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
- 2 2 月及び 3 月の休館日
- 3 領事窓口時間等について
- 4 領事だより
 - (1) 3 月・4 月、年度替わりの時期に日本へ出発される方々へ
 - (2) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要（3 月 27 日から）
 - (3) 在留届の届出内容に変更はありますか？
 - (4) モンリオール日本語補習校からのお知らせ
 - (5) ハリファックス日本語補習授業校からのお知らせ
 - (6) モンリオール日本語センターからのお知らせ
- 5 広報・文化だより
- 6 当館管轄 5 州の政治
- 7 当館管轄 5 州の経済

* * * * *

1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶

皆さまこんにちは。

先日の寒波はケベック州のみならず大西洋州でも相当なものだったと聞きましたが、ケベコワ達が最近にはない寒さだった！と言っているのを聞きつけ、これで胸を張ってカナダの寒さを体感した！と言えるぞ、と密かに喜んでいます。もちろん北極圏は言うに及ばず、平原州と比べれば「何言ってるの？」ということなのでしょうが・・・。

寒さになど負けずに各種行事に積極的に参加し、人とも会っています。

先月末にケベックシティで州政府主催の領事団向け新年行事があったのですが、Biron 国際関係・仏語圏大臣をはじめ、各国総領事の所掌に関係の深い大臣達が入れ替わり立ち替わり政策のプレゼンテーションをしてくれて勉強になりました。州首相もレセプションを主催し、ケベック州においてもようやく本来の形での「外交」が戻ってきたことを実感しました。

私が着任したときに国際関係・仏語圏大臣を務めていた Mme Girault が先日お亡くなりになりました。オンラインや対面で何回か意見交換をさせていただきましたが、とても気さくな方で、国際社会においてケベック州が進むべき道について力説されていたのが印象的でした。謹んでご冥福を祈ります。

モントリオールの中華街での旧正月イベントやケベックシティでの冬のカーニバルにも顔を出しました。風物詩はいいですね。前者では、中華文化圏の獅子舞の獅子はキャベツが好物？であることを知りました。ちなみにケベックシティへの二回目の列車旅では往復ともしっかり遅延し、はしゃいでいた初回とは打って変わってうーん・・・という感じでした。この関連では、ケベックシティからオンタリオ州の端までを結ぶ「高頻度鉄道」構想があるのですが、いつの日かそれが走るようになったらもう少し定時運行が確保されるのだろうなあと思いました。「高速度」ではなく「高頻度」で、フランス語だと有名なフランス版新幹線のようなTGV (Train à Grande Vitesse、文字どおり高速鉄道)ではなくTGF (Train à Grande Fréquence)になりますが、TGVという言葉の響きに慣れた私にとっては耳慣れない言葉です・・・。この構想は主として連邦レベルの話ではありますが(かつ最近になっていろいろな声が聞こえてきます)、今月末から初訪日されるBiron大臣は新幹線に乗ってみると言っておられたので、どの程度日本の技術に感心して帰ってこられるかが楽しみです。

一時的な強烈な寒さはあるものの、長続きしないからか雪の付きや湖などの凍り具合も今一步のようで、郊外に期間限定で登場するはずのicebridge(夏期はフェリーが就航している河が凍り、クルマで走れる)や、motoneigeのツアーもパツとせず、このまま春が来てしまうと「二度目の冬も満喫しました!」と言えなさそうなのが少々気がかりです。それでも、行事が入っていない休日は郊外の森などに出かけて行ってraquetteやfatbikeを楽しんでいます。人が少ない時間帯や場所を選んで森の中を進むと、キツツキがいて楽しいです。コツコツコツと音が聞こえてきて、立ち止まって上を探すと一心にくちばしを木の幹に打ちつけていて、なんと言ったこともないのですが見入ってしまいます。木々に葉がないのですぐに見つかる上、遥か下に人間がいようが全く気にせずエサを探しているのを見ていて(聞いていて)飽きません。公邸の裏庭にある小鳥の餌箱に時折cardinalがやってくるのも楽しいです。警戒心がかなり強いようで、他の鳥がついばんでいるのを近くの木からじっと見ていて、やおら飛んでくると少し食べてすぐに飛び去ってしまいます。

日本ではコロナが5類になる日も公表され、マスクについても来月から適用される新指針が発表されました。それらも相まってか、当地から訪日する方々が増えていることを実感しています。「弾丸出張だけど3年ぶりに日本に『戻れる』のが本当にうれしい!」「夏に出張するんだけど、家族を同伴して休暇も楽しみたいからお勧めの場所・コトを教えてください」といったコメントや依頼に接するとやはりうれしいものです。ひるがえって東部5州への日本人観光客の戻りは未だしといった感じで、今年の夏に期待したいところですが、ひと足先に日本からの留学生は徐々に戻ってきているようです。治安の良さが評価されていると聞きますが、それに加えて語学学習に関しては英語が「きれい」だという面もあると思っています。ケベコワに、(東部5州の)カナダ

人の英語は総じてなまりがなくてきれいだという話をすると、当然だという顔をしつつ、(フランス語にはかなり強いなまりがある) 仏語系ケベコワにしても、(母語ではない) 英語はテレビや映画で身につけている部分があるので自ずとなまりのないきれいな英語になるのだという説明をしたり顔でされたことがあります。なるほど、と思わないでもないです・・・。

間もなく一年経ってしまうウクライナ情勢、トルコ南部での地震等気が滅入る話も多いですが、春の訪れを待ちつつ、上を(というより前を)向いて歩いて参りたいと思います。

2 2月及び3月の休館日

- 2月23日(木) 天皇誕生日
- 毎週土日

3 領事窓口時間等について

2020年4月以来、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とケベック州の各種規制を受け、領事窓口受付時間を短縮してきましたが、2022年3月28日から、通常化しています。

詳しくは以下をご覧ください。

(1) 受付時間

【査証を除く、申請の受付】

9時～12時、13時30分～16時30分

【査証を除く、交付・受領】

9時～12時30分、13時30分～17時

【査証の申請受付と交付・受領】

9時～11時30分、13時30分～16時

(2) 標準処理日数

●旅券

申請日の翌開館日を1日目として、5開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→翌週月曜日交付)

●証明

申請日の翌開館日を1日目として、3開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→木曜日交付)

●査証

申請日の翌開館日を1日目として、原則として、5開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→翌週月曜日交付)

(3) 予約制の一部導入

当地の規制緩和及び日本における水際措置緩和に伴い、来館者が増加しております。来館者及び当館館員の感染リスクが高まることを可能な限り防ぐため、領事待合室に来館者が長時間滞在されることのないようにいたします。

このため、2022年3月15日から、当面の間、一部の取り扱いについて予約制を導入しています。あらかじめ当館領事班にご連絡いただき、ご予約ください。

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】514-866-3429

4 領事だより

(1) 3月・4月、年度替わりの時期に日本へ出発される方々へ

3月・4月と、日本は年度替わりの時期です。3月末で令和4年度が終わり、4月から令和5年度になります。

仕事や学業の都合で日本に出発される方も少なからずいらっしゃると思います。

そんな皆様におかれては、日本入国前には、Visit Japan Webでの手続きをお忘れなく！

日本入国時の検疫手続きを一部事前登録し、ファストトラック利用が可能となります。税関申告も可能です。

詳しくはVisit Japan WebのWebサイトをご覧ください。

<https://vjw-lp.digital.go.jp/>

そのほか、新型コロナウイルス感染症の日本の水際対策は、当館ホームページで随時更新してご案内しています。

【当館ホームページ】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/coronavirus_jp.html

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

(2) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要 (3月27日から)

2023年3月27日(月)、改正旅券法令が施行されます。これにより、同日以降の旅券手続きが一部変更されます。ポイントは以下のとおりです。外務省のウェブサイトもご参照ください。

●旅券の発給申請手続きの一部オンライン化

旅券の発給申請手続きが一部オンライン化され、その場合、電子申請も可能となり、その場合申請時の出頭が不要となります。また、旅券を紛失または焼失した場合などにも、オンラインでの届出が可能となります。

なお旅券発給申請手続きをオンラインで行うには、在留届をオンライン提出していることが前提となります。在留届を書面で提出済みの方は、まず在留届をオンライン化する必要がありますので、当館にご連絡ください。

●戸籍謄本の提出

旅券申請手続きに戸籍が必要な場合、これまで戸籍謄本又は戸籍抄本のいずれかの提出を受けていました。3月27日以降に申請される場合は、戸籍謄本のみが認められるようになり、戸籍抄本では認められなくなります。

●査証欄(ビザページ)の増補の廃止

今後は、旅券の査証欄に余白がなくなった場合でも増補(ページの追加)はできません。(A)有効期間が元の旅券の残存有効期間と同じ「残存有効期間同一旅券」、あるいは、(B)切替申請として新たな旅券(5年又は10年の有効期間)のいずれかの発給申請をしていただくこととなります。

●旅券発行後6か月以内に受領せず、再度、旅券を申請する場合の手数料について

旅券を申請したが、発行後6か月以内に受領せずに同旅券が失効した場合で、失効後5年以内に新たな旅券を申請する際は、手数料が通常より高くなります。

なお、これは、3月27日以降に申請した旅券が未交付のまま失効した場合について適用され、これより前に申請した旅券が失効した場合には適用されません。

●申請書の変更

3月27日から、旅券発給等のための申請書の様式が変更されます。同日以降、古い様式の申請書は使用できません。

【外務省ウェブサイト】

- 旅券法令改正及び旅券（パスポート）の電子申請の開始について

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page22_003958.html

- 令和4年の旅券法令改正による申請手続の主な変更点

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page22_003977.html

(3) 在留届の届出内容に変更はありますか？

【2023年4月1日をもって、ファックスによる提出方法は廃止となります】

外国に3か月以上滞在する日本人は、お住まいの地域を管轄する在外公館に在留届を提出することが義務づけられています。在外公館は、在留届をもとに、日本人の皆様が不慮の事故や事件、災害に遭遇した際の安否確認、日本国内連絡先への緊急連絡等を行っています。そのためには、在留届の記載内容が常に最新の状態であることが重要です。

●在留届を紙媒体で当館に提出された方：

届出内容に変更が生じた場合は、速やかに当館にご連絡くださるようお願いいたします。

●インターネット上で提出された方：

ご自身でインターネットにて手続きをお願いいたします。

災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（3か月以上の滞在）の届出、またはたびレジ（3か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。

※2023年4月1日をもって、ファックスによる提出方法は廃止となります。原則として、インターネット上での提出をお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

(4) モントリオール日本語補習校からのお知らせ

現在、モントリオール日本語補習校では、正教員および補助教員を募集しております。

モントリオール日本語補習校は、モントリオール近郊在住の小中学生を対象に主要教科(国語・算数(数学)など)の補習教育を毎週土曜日に日本語で実施しています。本校は、将来日本において教育を受けることを希望する小・中学生が、日本の学校教育に円滑に適応できるよう、日本の学習指導要領に沿った授業を日本語で提供することを目的としています。

以下の条件に合う、熱意のある方のご応募をお待ちしております。

a. 正教員・・・日本での教員の経験、またはそれと同等の能力および経験のある方

【勤務時間】毎週土曜日 6 限授業（年間 40 日）

b. 補助教員・・・小学生の担任教員のアシスタント業務（採点、授業準備等）が行える方

【勤務時間】毎週土曜日 8：15～15：45（年間 40 日）。但し、実際の勤務時間は応相談。

c. 代講教員・・・小学校・中学校の全学年。特定の科目だけでも可能です。担当教員が休みの時に代講をお願いします。

詳細は、補習校ホームページ (<http://mtljpschool.web.fc2.com/>) をご参照ください。

(5) ハリファックス日本語補習授業校からのお知らせ

ハリファックス日本語補習授業校では、2023 年度 4 月から入学希望の新入生、他学年の生徒の募集をしております。

ご入学希望の方は、下記のアドレスまでご連絡下さい。

japaninhalifax@gmail.com

(6) モントリオール日本語センターからのお知らせ

モントリオール日本語センターでは新年度（2023 年 4 月～2024 年 3 月）の教員を募集しています。

土曜日の午前中にセンターで勤務できる方、応募、詳細についてご興味のある方は以下のメールアドレスまでご連絡ください。

（応募の際は履歴書をご送付いただきますようお願いいたします。）

info@japanesecenter.com

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●ツイッター

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

(2) 第 33 回ケベック州日本語弁論大会

日時：3月11日(土) 10時

場所：UQAM

詳細は当館HPをご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_en/events.html

(3) 第 25 回大西洋州日本語弁論大会

日時：3月11日(土)

詳細は当館HPをご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_en/events.html

(4) 日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●いけばなインターナショナル 2 月例会

Kazuko Tanaka 氏及び Josiane Girard 氏による古流松藤会デモンストレーションが行われます。

日時：2月24日(金) 13時

場所：Centre Communautaire Monkland

4410 ave. West Hill, Montreal

電話：514-872-8588

参加費：20 ドル

連絡先：田中和子氏 (kazuko.dorangeville@gmail.com)

●La brasserie San-0 主催：味噌と麴のワークショップ

味噌作りワークショップ

日時：3月18日(土) 9時~10時

場所：Boutique de Ferment Inc.

1255 Rue Belanger, Montreal

<https://www.kojisoupe.com/event-details/miso-workshop-march-latelier-de-miso-mars>

味噌丸作りと麴ランチ

日時：3月26日(日) 10時30分~12時30分

<https://www.kojisoupe.com/event-details/latelier-de-miso-bomb-et-brunch-koji-japonaise-mars-26>

場所：Buffet Maharani

808 Rue Jean-Talon 0, Montreal

●「JFF+ INDEPENDENT CINEMA」

国際交流基金が、日本各地のミニシアター支配人から推薦を受けた日本映画 12 作品を 2 つの期間に分けて無料ストリーミング配信します。

期間：3月15日（水）まで6作品

「二重のまち／交代地のうたを編む」「風の波紋」「ワンダーウォール 劇場版」
「誰かの花」「ほったまるびより」「旅立ちの島唄～十五の春～」

期間：3月15日（水）～6月15日（木）6作品

「アルプススタンドのはしの方」「戦慄せしめよ」「夜を走る」
「だってしょうがないじゃない」「距ててて」「夢は牛のお医者さん」

視聴方法等、詳細はこちらからご確認ください。

<https://jff.jp/watch/independent-cinema/film-lineup/>

●抹茶と和菓子（最中）づくりのワークショップ

日時：3月5日（日）11時30分、14時 於：Sumi Dojo

3月26日（日）11時30分、14時 於：Miyamoto

場所：Miyamoto：382 Av. Victoria, Westmount

Sumi Dojo：3479 Boulevard Saint-Laurent, Montreal

<https://www.eventbrite.ca/e/billets-atelier-matcha-diy-wagashi-au-restaurant-sumi-dojo-479547117337?aff=JPN>

●Okinawa night in Montreal 2023

沖縄の食べ物、コンサートが楽しめます。

日時：3月25日（土）

場所：KIN Experience

397A Rue Sainte-Catherine 0. Montreal

1回目：12時30分～15時30分

<https://www.eventbrite.ca/e/okinawa-night-in-montreal-2023-1st-set-tickets-464972414007>

2回目：16時30分～20時

<https://www.eventbrite.ca/e/okinawa-night-in-montreal-2023-2nd-set-tickets-522035511267>

●Chant d'une clematite / Song of Clematis de Masako Miyazaki

宮崎雅子氏による写真展が開催中です。（無料）

期間：5月7日（日）まで

場所：Parc Saint-Joseph

9909, 68e Avenue, Montreal

<https://montreal.ca/evenements/chant-dune-clematite-song-clematis-de-masako-miyazaki-28675>

●Festival de contes pour la jeunesse

市内各所にて、様々な年齢を対象にしたストーリーテリング、ワークショップ等が行われます。日系人のはなし家、Pascal Mitsuru Gueran氏による日本に関するお話しの回もあります。

期間：5月13日（土）～28日（日）

<http://festilou.com/festilou/>

●ランゲージ・エクステンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクステンジが、毎週土曜日朝8時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター

日本語教師向けにワークショップや情報交換会（オンライン）が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

E-libraryで日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。

<https://jf.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 当館管轄5州の政治

(1) ケベック(QC)州

・1月9日、国連は、1987年に195ヶ国が署名したモントリオール議定書のおかげで、オゾンホールは40年以内に解消される見込みであると発表。

・1月12日、世論調査会社シノプシスが2022年11月24～28日に行った調査によると、非正規移民の流入が続く米国との国境にあるロクサム街道(Chemin Roxham)閉鎖に賛成する州民の割合は、同年春の60%から68%に増加。

・1月12日、(新型コロナウイルス)オミクロン株の新たな派生型「XBB.1.5」が初めて州内で確認される。19日、コロナ検査の陽性率は12月末の13%から9.3%に低下、沈静化の傾向にある。

・1月19日、モントリオール警察(SPVM)本部長にダゲール(Fady Dagher)氏が正式に就任。

・1月23日、台湾は、新たな外交事務所をモントリオールに開設準備中。

・1月26日、ドランヴィル州教育大臣は、教員免許取得の迅速化、特別支援教育や教員

支援の充実等を含む、7つの教育優先事項を発表。

・1月26日、トルドー連邦政府は、反イスラム感情対策特命代表にジャーナリストで人権活動家のエルガワビ (Amira Elghawaby) 氏を任命。同氏が以前、QC州民は法の支配ではなく反イスラム的感情に影響されていると発言、また宗教的シンボルを禁止する州法21に反対を表明したことがあるため、州内で大きな物議を醸す。30日、ロベルジュ州政教分離担当大臣兼カナダ国内関係担当大臣は、エルガワビ氏は過去の発言を撤回・謝罪しなかったとして辞任を要求。一方トルドー連邦首相は、エルガワビ氏の任命は撤回しない旨発言。31日、ルゴー州首相は、ケベック州民蔑視を認めるものだとしてトルドー連邦首相を非難。

・1月29日、ケベック市のモスク銃乱射事件から6年、追悼式典にルゴー州首相は欠席。ラビディ・ケベック・イスラム文化センター (CCIQ) は、エルガワビ氏の反イスラム感情対策特命代表任命を歓迎。

・1月31日、州議会が再開。3人のケベック党議員は、州史上初めて、議員として英国王への宣誓をせずに議場入りを果たす。

(2) 大西洋諸州

・1月5日、新型コロナウイルスのオミクロン株の新たな派生型「XBB.1.5」が初めてNL・NS州で確認される。10日、NB州でも確認。

・1月11日、カナダ統計局によると、2021年7月から2022年7月にかけて、人口増加が国内で最も急速に進んだ都市は、モンクトン(5.3%増、人口17万人)とハリファックス(4.4%増、人口48万人)であった。

(3) ニューファンドランド・ラブラドール(NL)州

・1月9日、クロッカー州観光大臣は、緊急手術のため休職。30日、ヘギー州教育大臣は、健康上の理由で休職。

・1月11日、オズボーン州保健大臣は、医師や看護師等の医療従事者採用を目指しアイルランドを訪問すると発表。養成方法や文化がNL州と似ているとのこと。

・1月13日、ブラジル州進歩保守党暫定党首は、今後、党は連邦保守党との関係強化を目指すと発言。ポワリエール連邦保守党党首とは近々オタワで面会予定とのこと。

・1月30日、メモリアル大学の教職員約800人を代表する組合(MUNFA)がストライキを開始、講義が一部中止となる。組合側は非正規職員の待遇改善、大学運営に関する発言権強化等を求めていたが、期限の29日までに大学側との交渉が成立しなかった。

(4) プリンスエドワードアイランド(PEI)州

・1月2日、カナダ統計局によると、州の移民定着率(カナダに到着して5年後に同じ州で確定申告を行った移民の割合)は、2015年には15.6%だったのが2020年には28%と改善するも、まだ他州に比べ低い数字(他州の2020年の移民定着率は大西洋他3州50%前後、QC80%、ON92%)。

(5) ノバスコシア (NS) 州

・1月4日、州政府は、医療従事者不足対策として、ケニア難民キャンプで65人を介護職に採用。2023年半ばに州に到着予定とのこと。

・1月10日、かかりつけ医を持つことを希望する州民の数はさらに増加し、2022年12月1日現在、州人口の13%にあたる125000人となる。

・1月18日、トンプソン州保健大臣は、救急医療システム改善のため、医師助手や診療看護師が行えるケアの拡大、緊急性の低い患者向けのバーチャル診療充実、救急隊員養成強化等、一連のアクションを発表。

(6) ニューブランズウィック (NB) 州

・1月4日、2022年10月に辞任したカーディ前州教育大臣は、州と孔子学院との関係が完全に切れることを確認するまで自身の辞任を待ったと発言。カーディ氏は教育大臣就任直後の2019年、州内の学校で行われていた孔子学院プログラム廃止を決定したが、契約の問題で高校プログラムのみ2022年まで継続していた。また州は、中国在住中国人向けに州のカリキュラムを教える私立学校 Concord College についても、州の公民や民主主義プログラムをきちんと教えていないとして契約終了に向かっているとのこと。

・1月5日、ホルト州自由党党首は、同党政権獲得のあかつきには、英語系学校における第二言語としての仏語教育プログラム「フレンチイマージョン」を復活させると発言。次回州総選挙は2024年10月実施予定。

・1月17~25日、フレンチイマージョンプログラムに代わる新たなプログラム仕上げのため、州内各地で市民との協議（対面）が実施、多くの参加者が集まる。新プログラムに賛成した発言者は1人もいなかった。

・1月20日、大西洋州で最初となるフランスの教育機関 Lycee international francais des provinces atlantiques (LIFPA) が、セントジョンに2024年9月開校することが決定。

・1月24日、州内に2つある医療ネットワークのうちの1つホライズンは、モンリオールで看護師採用活動を実施。

7 当館管轄5州の経済

(1) QC 州

・1月11日、NorthStar Earth & Space（本社モンリオール）は、アクセルスペース（本社東京）と、宇宙物体追跡サービスで提携締結。NorthStar は、アクセルスペースが運用する5機のAxelGlobe地球観測衛星データを活用し、より包括的なスペースデブリ観測、宇宙状況把握 (SSA) を行う。

・1月10日、プロシュ・ハイドロケベック CEO は、任期満了前の4月11日に退任すると発表。11日、ルゴー州首相は、プロシュ氏の退任は政府との方向性の違いとは無関係である、次期CEOには新規開発に前向きな人物を望む旨発言。

- ・1月11日、エアバスは、ミラベルで生産される A220 型機増産に苦戦。同社は 2022 年、前年比 3 機増の 53 機、月平均 4.4 機の A220 を納入。2025 年には月産 14 機体制を目指しているが、サプライチェーンがネックになっている。
- ・1月12日、セテイルにある北米最大のアルミ精錬所アルエット(Alouette, 丸紅が出資)は、12月23~24日に発生したアイスストームと停電により、設備破損や生産遅れにともなう損失を被ったとの報道。詳細は明らかにされず。
- ・1月16日、Galaxy Lithium (加企業)は、ジェームズ・ベイのリチウム鉱山プロジェクトに関し連邦環境省から認可を取得。
- ・1月18日、デルタ航空は、エアバス A220-300 型 12 機を追加発注。同社が購入する同型機は 119 機に。
- ・1月18日、フィッツギボン州経済・イノベーション・エネルギー大臣は、Mauricie ならびに Centre-du-Quebec 地域は、バッテリー産業集積地として 1 万人の労働者が必要になると発言。ベカンクールにバッテリー関連工場建設を準備中の複数の多国籍企業は 2025 年にも生産開始を目指している。
- ・1月19日、州政府は、5月1日より、最低賃金を時給 14.25 加ドルから 1 ドル(7%)増の 15.25 加ドルに引き上げると発表。
- ・1月19日、ルゴ州首相は、2041 年に契約が終了するチャーチルフォールズ水力発電所からの電力供給をめぐり、今後の NL 州との交渉における立場強化のため、QC 州は新たなダムを建設する必要があると発言。州が 2050 年までにネットゼロを達成するためには、現在の年間発電能力の半分以上にあたる 100 テラワット時(TWh)以上の追加電力が必要。
- ・1月20日、ケベック投資公社(IQ)は、アマゾン、ボーイング、マイクロソフト等が本部を置き、航空宇宙やテクノロジー産業の主要拠点となっている米シアトルに商務担当ポストを新設する。在ロサンゼルス州政府代表事務所にとって、シリコンバレーに続く 2 つ目の拠点拡大となる。
- ・1月24日、連邦政府が検討中のケベックシティ・トロント間の旅客鉄道について、アルストムは、高頻度列車(HFT/TGF)ではなく高速列車(TGV)を再び提案。TGF よりも費用対効果が高く環境にも良いとのこと。マルシャン・ケベック市長も TGV を希望。
- ・1月26日、フィッツギボン州経済・イノベーション・エネルギー大臣は、エネルギー効率化や民間による風力発電開発は、州に新たなダム建設が必要かを判断するための最初のステップである旨発言。
- ・1月27日、州政府発表によると、フィッツギボン州経済・イノベーション・エネルギー大臣は、ダボスで開催された世界経済フォーラムで、バッテリーのライフサイクルに関するデータを集約したデジタルプラットフォーム「バッテリーパスポート」構想を推進する Global Battery Alliance のパネルに参加、また三菱重工を始めとする世界の主要企業幹部と面会した。
- ・1月28日、QC 州の研究者が高齢者の転倒を予測・予防する技術を日本で開発中：モントリオール大学のフォベール(Jocelyn Faubert)教授他が共同で立ち上げた Sage-Sentinel プロジェクトは、沖縄科学技術大学院大学から資金援助を受け、高齢者が転倒する 3~5 秒前に警告してくれるブレスレットを開発している。

(2) NL 州

- ・1月18日、鉱山企業 IOC (三菱商事が出資)は、ラブラドル市に 34 ヘクタールの

土地を寄贈。ラブラドル市はかつて IOC の一部であったが、町の発展とともに土地の所有権が自治体に移る中、大小の区画に分かれた土地が同社のものとして市内各地に残っていた。

・1月20日、2041年にQC州との電力供給契約が終了するチャーチルフォールズ水力発電所について、フューリー州首相は、同発電所の電力を将来どのように活用するかを検討するため、現在2つのパネルが作成中の提案を待っていると発言。1969年に締結されたアップパー・チャーチルフォールズ契約により、QC州は同発電所で生産される電力(5428MW)のほぼ全量を低価格で買い取っており、度重なる法廷闘争を経て契約は継続中。同発電所は hidroケベック(HQ)も約35%を保有し、現在QC州内で使用される電力の15%は同発電所から供給されている。

・1月22日、州選出のスモール連邦下院議員(保守党)は、日本がロシア産のズワイガニを大量に輸入したために2022年シーズンの同州産ズワイガニが売れ残っていると発言、連邦政府に日本への働きかけを要求。ウクライナ侵攻によるロシアへの経済制裁について、日本は、ロシア産水産物は制裁の対象外としている。州の水産物生産者協会代表によると、業界の経済損失は1億ドル超となる見込み。

・1月23日、QC州のUashat mak Mani-Utenam イヌ・コミュニティ(UMM)は、QC州上級裁判所に、1970年代に完成したチャーチルフォールズ水力発電所建設で先祖代々からの土地が相談なしに沈められ壊滅的な被害を受けたとして、HQに22億加ドルの損害賠償を求め提訴。

(3) PEI 州

・1月13日、キング州首相は、州とNB州を結ぶコンフェデレーション橋の通行料(現在は普通車50.25加ドル)は地元ビジネスの競争上不利であるとして、同橋ならびにNS州と結ぶフェリーの料金を20加ドルに値下げするよう連邦政府に要求。

(4) NS 州

・1月30日、ウエストジェットは、2023年夏のハリファックスとヨーロッパを結ぶ各便の運休を発表。ハリファックスとカナダ西部を結ぶ便を強化するためとのこと。

(5) NB 州

・1月20日、市内局番10桁の導入開始。506の市外局番が定員に達したため、2023年4月より、新たな市外局番428が追加されるのにもなっている措置。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なされないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、

「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下の URL をクリックすると閲覧いただけます。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

当館 Twitter：@JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当（emagazine@mt.mofa.go.jp）までご相談ください。

■-----■